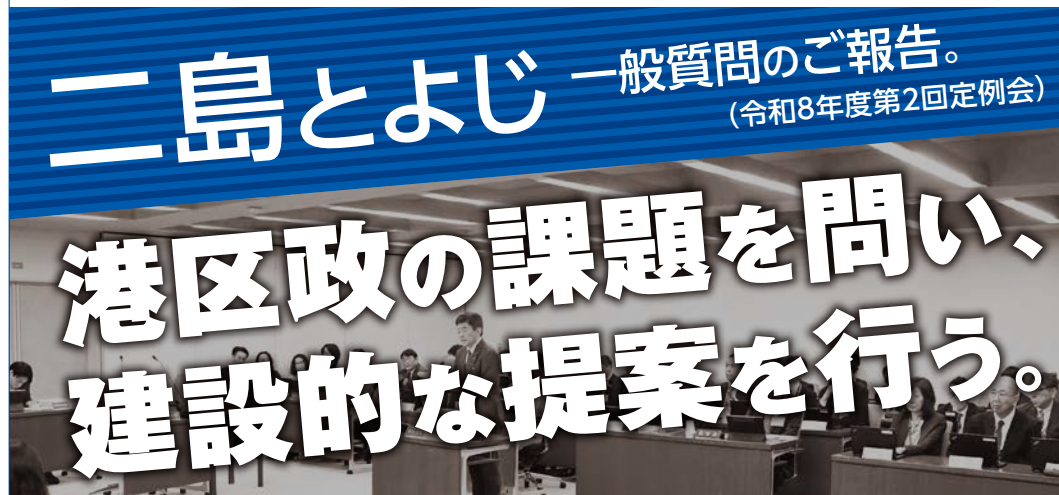




令和8年6月16日から25日の10日間、令和8年第2回定例会が開催されました。今定例会では、一般質問の機会を得ましたので、日々の活動の中でお寄せいただくご意見や清家区長の区政運営について質問。質問の主旨と噛み合わない答弁が多々あり、再質問にも時間を割くこととなりました。私が考える現区政の課題を多くの皆様にも知っていただき、ともに知恵を出し合いより良い区政について考える、そんなきっかけとなれば幸いです。

区の人事政策の意図について。

キスポーツ財団など、
各団体の自律性と区の関わり方。
線引きの基準を問う！

今春港区スポーツふれあい文化健康財団(キスポーツ財団)の事務局長に特別職OBが就任、港区体育協会事務局長には昇任したばかりの管理職職員が派遣されました。

同財団は区民まつりやミナトシティハーフマラソンの事務局を特命で担う一方、指定管理者として他企業と競合の上で港区の施設運営を受託しています。財団についてはその2面性を指摘。財政的にも区に大きく依存する外郭団体等に対し、人事面でも深くかわかることは、当然組織運営にも関与することとなり、団体の自律性と線引きが必要となることについて質問しました。

(答弁) 検討部会を設け検討を進めている

制度の運用、周知方法について。

障害者日常用具給付の機器買替えや
災害時避難行動要支援者登録事業の
周知方法の改善を！

障害者日常生活用具給付に関し、不具合の出た機器の耐用年数期間内の買替えは、これまで一部の方々のみが恩恵を享受してきました。障害者である受給者に寄り添った周知をするよう強く求めました。災害時避難行動要支援者登録事業についても同様です。

(答弁) 周知方法の改善を行う

いじめ防止対策について

「いじめ相談窓口」ではいじめの解決に
寄与しないことを指摘。是正を求める！

いじめ防止対策は、一義的に教育委員会が所管しますが、こども家庭庁からも首長部局が連携して役割を担う





予算修正案への質問に答弁

重要性が示されています。今般、港区が設置を予定していた「いじめ相談窓口」は、一方当事者が弁護士に相談できるだけであって、その情報を基にいじめ解決のための介入等は想定をしないものでした。

いじめという重大な人権侵害に毅然と対峙する意志が感じられない区長の姿勢や、教育委員会との意思疎通が不足している現状を問いました。(二島の提案により)事業の内容や名称が再検討されることになりました。

公金の取扱いについて。 (仮称)分庁舎賃貸借契約 の多くが黒塗り。

区長の姿勢を問う!

総合支所を縮小し、本庁舎近くの民間ビルを分庁舎として賃借する計画について、私たち自民党は一貫して慎重な対応を求めてきました。

しかしながら区は3月、新橋6丁目にある新築ビル2フロア(約600坪)の賃貸借契約を締結。ところが、これまで資料に記載されていた賃料、敷金、契約期間などの重要な情報は、契約先の事情を理由に非開示とされていることが判明しました。本件について、公費を支出するに際しての区民への説明責任について区長の姿勢を質問しました。

(答弁) 情報公開条例に基づき非公開



区民への説明責任よりも事業者の事情を優先する区長の姿勢は、厳しく問われなくてはならないものと考えています。

これからも区民の皆様と同じ目線に立ち、同じ感覚を持って、より良き

区政を目指し声を上げて参ります。引き続き皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

港区議会議員

二島豊司

自民党議員団は、区政の問題を指摘し続けるも、改善されないことを理由として、本年第1回定例会に提出された令和8年度一般会計予算案に対する修正案を提出し、原案には反対しました。

—— 二島とよじ質問項目 ——

- ①人事について
- ②外郭団体等への関与について
- ③企業との連携について
- ④家庭ごみや資源収集員の熱中症対策について
- ⑤障害者施策について
- ⑥いじめ問題への対策について
- ⑦新規事業の企画立案について
- ⑧公金の取扱いについて
- ⑨学校現場を守る取組について



■カネ(男性)フラをはじめてから3年半…

7月に開催された「白金プラザ会天の川蛸祭」で、ステージに立たせていただきました。カネ(男性)フラの魅力に惹かれてレッスンに通い始めておよそ3年半。大勢の観

客を前に仲間たちと楽しく踊ることができ感無量です。

主催の白金プラザ会様はじめ、関係する全ての皆様に心から感謝申し上げます。

(10月のみなと区民まつりにも出演予定!)



質問の様子を動画配信しています

右記動作で
ご覧頂けます

🔍 港区議会

📺 動画配信

🔍 議員名で検索

二島豊司

二島豊司(にしま・とよじ)プロフィール

- 昭和47年(1972年)、栃木県足尾町(現・日光市)生まれ
- 栃木県立宇都宮高校卒～早稲田大学法学部卒
- 株式会社日本リース勤務～衆議院議員・梶山弘志秘書
- 平成19年4月、港区議会議員に初当選(現在5期)
- 令和元年5月、第46代港区議会議長就任(～令和3年6月)

- ボーイスカウト港17団(港区白金)リーダー、ガールスカウト東京94団(港区白金)をサポートするリーダー、障がい者スイミングクラブボランティア等も行う
- 家族は妻と2男(高3、小6)
- ◆自民党議員団幹事長、港区議会総務常任委員長、建設常任委員長、自民党東京都連青年部幹事長等を歴任 ◆元・明治学院大学非常勤講師(都政研究)
- ◆NPO法人 先端政策研究機構主任研究員